

第 88 回規格会議

2013年7月3日、第88回規格会議を東海大学校友会館（霞が関ビル）において開催しました。今回は、次に掲げる標準規格の策定1件、改定13件、廃止1件、技術資料の改定6件について審議され、すべて提案のとおり決議されました。

本規格会議において決議された議案の概要は、別紙のとおりです。



第 88 回規格会議の様子

- 1 特定ラジオマイクの陸上移動局の無線設備（テレビホワイトスペース帯、1.2GHz帯）標準規格の策定について（ARIB STD-T112 1.0版）
- 2 特定ラジオマイクの陸上移動局の無線設備標準規格の改定について（RCR STD-22 3.1版）
- 3 IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical Report の改定について（ARIB STD-T63 / ARIB TR-T12 Ver.10.00）
- 4 IMT-2000 MC-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical Reportの改定について（ARIB STD-T64 / ARIB TR-T13 Ver.6.30）
- 5 広帯域移動アクセスシステム(CSMA)標準規格の改定について（ARIB STD-T71 6.0版）
- 6 OFDMA Broadband Mobile Wireless Access System (WiMAX™ applied in Japan) ARIB STANDARDの改定について（ARIB STD-T94 Ver.3.0）
- 7 OFDMA/TDMA TDD Broadband Wireless Access System (XGP) ARIB STANDARDの改定について（ARIB STD-T95 Ver.3.0）
- 8 LTE-Advanced System ARIB STANDARDの改定について（ARIB STD-T104 Ver.2.00）

- 9 デジタル放送に使用する番組配列情報標準規格の改定について
(ARIB STD-B10 5.2版)
- 10 デジタル放送におけるデータ放送符号化方式と伝送方式標準規格の改定について
(ARIB STD-B24 5.8版)
- 11 デジタルテレビジョン放送におけるデジタル字幕ファイル交換フォーマット標準規格の改定について(ARIB STD-B36 2.4版)
- 12 補助データパケット形式で伝送されるデジタル字幕データの構造と運用標準規格の改定について(ARIB STD-B37 2.5版)
- 13 サーバー型放送における符号化、伝送及び蓄積制御方式標準規格の改定について
(ARIB STD-B38 2.3版)
- 14 エリア放送の伝送方式標準規格の改定について
(ARIB STD-B55 1.2版)
- 15 地上デジタルテレビジョン放送運用規定技術資料の改定について
(ARIB TR-B14 5.2版)
- 16 BS/広帯域CSデジタル放送運用規定技術資料の改定について
(ARIB TR-B15 6.1版)
- 17 デジタルハイビジョン素材伝送補助データ運用規定技術資料の改定について
(ARIB TR-B22 1.1版)
- 18 セグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送運用規定技術資料の改定について
(ARIB TR-B33 1.7版)
- 19 525/60及び1125/60テレビジョン方式のコンポーネントビット直列インタフェースにおける補助データ領域への字幕データの多重方法標準規格の廃止について(ARIB STD-B27 1.0版)

第 88 回規格会議 標準規格及び技術資料の策定、改定及び廃止の概要

規格番号	規格名	概要
ARIB STD-T112 1.0 版	特定ラジオマイクの陸上移動局の無線設備（テレビホワイトスペース帯、1.2GHz 帯）標準規格	<p>本標準規格は、無線設備規則第 49 条の 16 に規定される特定ラジオマイクの陸上移動局の無線設備及び無線設備規則第 49 条の 16 の 2 に規定されるデジタル特定ラジオマイクの陸上移動局の無線設備について規定するものである。</p> <p>2011 年 9 月に改定された周波数再編アクションプランにおける、700/900MHz 帯の周波数割当の基本方針を踏まえ、特定ラジオマイクの陸上移動局及びデジタル特定ラジオマイクの陸上移動局は周波数帯を移行することとなり、テレビホワイトスペース帯又は 1.2GHz 帯へ移行するための制度整備が 2012 年 7 月に行われた。</p> <p>これに対応するため、同システムに係る標準規格を策定するものである。</p> <p>なお、周波数帯を移行するとともに地上デジタルテレビ放送等との共用条件を満たすため、使用周波数帯、スプリアス発射及び不要発射の強度の許容値、空中線電力の許容偏差等の強制規格については一部見直しが行われているが、その他の技術的条件は周波数帯移行前のもの（RCR STD-22）と同じである。</p>
RCR STD-22 3.1 版	特定ラジオマイクの陸上移動局の無線設備標準規格	<p>本標準規格は、無線設備規則第 49 条の 16 に規定される特定ラジオマイクの陸上移動局の無線設備及び無線設備規則第 49 条の 16 の 2 に規定されるデジタル特定ラジオマイクの陸上移動局の無線設備について規定したものである。</p> <p>2011 年 9 月に改定された周波数再編アクションプランにおける、700/900MHz 帯の周波数割当の基本方針を踏まえ、特定ラジオマイクの陸上移動局及びデジタル特定ラジオマイクの陸上移動局は周波数帯を移行することとなり、テレビホワイトスペース帯又は 1.2GHz 帯へ移行するための制度整備が 2012 年 7 月に行われた。</p> <p>この中で、特定ラジオマイク及びデジタル特定ラジオマイクの陸上移動局の周波数は、2019 年 3 月 31 日までにテレビホワイトスペース帯又は 1.2GHz 帯へ移行することとされている。</p> <p>今回の改定は、上記の制度整備を踏まえ、周波数帯移行の経過措置を追記するものである。</p>
ARIB STD-T63 Ver.10.00	IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System ARIB STANDARD /	<p>本標準規格及び技術資料は IMT-2000 DS-CDMA 及び TDD-CDMA システムに関するものであり、第 87 回規格会議（2013 年 3 月）において Ver.9.60 に</p>

規格番号	規格名	概要
及び ARIB TR-T12 Ver.10.00	ARIB Technical Report	改定された。 今回の改定は、3GPP TSG 第 59 回会合（2013 年 3 月ウィーン開催）までに承認されたリリース 4 からリリース 11（LTE-Advanced 仕様は含まない。）に対応するように改定するものである。
ARIB STD-T64 Ver.6.30 及び ARIB TR-T13 Ver.6.30	IMT-2000 MC-CDMA System ARIB STANDARD/ ARIB Technical Report	本標準規格及び技術資料は、IMT-2000 MC-CDMA システムに関するものであり、第 87 回規格会議（2013 年 3 月）において 2013 年 1 月までに 3GPP2 が制定した仕様及び技術資料をベースに Ver.6.20 に改定された。 今回の改定は、2013 年 3 月までに 3GPP2 が制定した仕様及び技術資料に対応するように改定するものである。 なお、技術資料 ARIB TR-T13 については、新規規格の追加や既存規格の改定はないが、対応する ARIB STD-T64 のバージョンアップに合わせてバージョンを Ver.6.30 に改定するものである。
ARIB STD-T71 6.0 版	広帯域移動アクセスシステム(CSMA)標準規格	本標準規格は、電波法施行規則第 6 条第 4 項第 8 号に規定されている 5GHz 帯無線アクセスシステム及び第 6 条第 4 項第 4 号に規定されている小電力データ通信システムを用いた無線アクセス通信を行う無線局のうちで、多元接続方式として、IEEE 802.11 標準に基づく CSMA/CA (Carrier Sense Multiple Access with Collision Avoidance)技術を用いた無線設備について規定したものである。 今回の改定は、5GHz 帯を用いて実効スループット 1Gbit/s 以上の伝送を実現する次世代無線 LAN 規格 IEEE802.11ac に対応するため、伝送帯域の拡大（80/160MHz）及び二つの非隣接 80MHz チャンネルの同時利用伝送モードの追加等を行うものである。 なお、本件に関する電波法関連規則の改正は 2013 年 3 月 27 日付で施行されている。
ARIB STD-T94 3.0 版	OFDMA Broadband Mobile Wireless Access System (WiMAX™ applied in Japan) ARIB STANDARD	本標準規格は、第 68 回規格会議（2007 年 12 月）で Ver. 1.0 が策定され、その後の規格会議を経て、Ver. 2.4 に改定されている。 今回の改定は、本標準規格が引用している WiMAX フォーラム標準の改定及び関係省令の改正に対応して行うものである。
ARIB STD-T95 3.0 版	OFDMA/TDMA TDD Broadband Wireless Access System (XGP) ARIB STANDARD	本標準規格は、無線設備規則第 49 条の 29 に規定される「時分割・直交周波数分割多元接続方式又は時分割・シングルキャリア周波数分割多元接続方式広帯域移動無線アクセスシステムの無線局の無線設備」について規定されたものであり、2007 年 12 月に Ver. 1.0 が策定されている。

規格番号	規格名	概要
		<p>今回の改定は、電波法関係規則の改正及び XGP 標準規格の改定を踏まえ、所要の改定を行うものである。</p>
<p>ARIB STD-T104 Ver.2.00</p>	<p>LTE-Advanced System ARIB STANDARD</p>	<p>本標準規格は、いわゆる第 4 世代携帯電話システムである IMT-Advanced System に関する 2 つの標準規格の内の 1 つである LTE-Advanced System に関するものであり、第 87 回規格会議（2013 年 3 月）において Ver.1.50 に改定された。</p> <p>今回の改定は、3GPP TSG 第 59 回会合（2013 年 3 月ウィーン開催）までに承認されたリリース 10 からリリース 11 の LTE-Advanced 仕様に対応するように改定するものである。</p>
<p>ARIB STD-B10 5.2 版</p>	<p>デジタル放送に使用する番組配列情報標準規格</p>	<p>本標準規格は、デジタル放送の番組配列情報の構成、データ構造及び識別子の運用基準について規定したものである。</p> <p>今回の改定は、エリア型放送のようにエリア限定で行われる放送において、広く普及している地上デジタルテレビジョン放送受信機を共用利用するために、地上デジタルテレビジョン放送とエリア放送を識別する手段が必要なため、新たにエリア放送情報記述子を規定すると共に、HTML5 をベースにした放送通信連携サービス実現のため ARIB STD-B24 第 4 編に規定されるアプリケーション制御方式で使用されるアプリケーション情報テーブルのテーブル ID を規定するものである。</p>
<p>ARIB STD-B24 5.8 版</p>	<p>デジタル放送におけるデータ放送符号化方式と伝送方式標準規格</p>	<p>本標準規格は、デジタル放送におけるデータ放送の符号化方式及び伝送方式を規定したものである。</p> <p>今回の改定は、放送と通信が連携したアプリケーションを利用できるようにする機能について検討を行った結果、第 87 回規格会議で追加した第二編「XML ベースのマルチメディア符号化方式」及び第四編「アプリケーション制御方式」の新規関数等に対する見直し等を行うものである。</p>
<p>ARIB STD-B36 2.4 版</p>	<p>デジタルテレビジョン放送におけるデジタル字幕ファイル交換フォーマット標準規格</p>	<p>本標準規格は、放送局の行う標準テレビジョン放送等のうちデジタルテレビジョン放送で用いられる字幕放送方式に対応した、デジタルテレビジョン放送用デジタル字幕データファイルの交換フォーマットについて規定したものである。</p> <p>今回の改定は、「525/60 及び 1125/60 テレビジョン方式のコンポーネントビット直列インタフェースにおける補助データ領域への字幕データの多重方法標準規格」（ARIB STD-B27）の廃止に伴う修正や、アナログ放送終了に伴う表現の見直し、「アスペクト比 16:9 の画面におけるセーフティゾーン</p>

規格番号	規格名	概要
		技術資料」(ARIB TR-B4)におけるセーフティゾーンの記載に合わせた変更を行うものである。
ARIB STD-B37 2.5 版	補助データパケット形式で伝送されるデジタル字幕データの構造と運用標準規格	<p>本標準規格は、スタジオ内で使用される 525/60 テレビジョン方式コンポーネントビット直列インタフェース及び 1125/60 方式 HDTV ビット直列インタフェースにおいて、映像に同期して画面表示される文字のための字幕データを、垂直補助信号領域を用いて補助データパケット形式で伝送する場合の構造について定めたものである。</p> <p>今回の改定は、「525/60 及び 1125/60 テレビジョン方式のコンポーネントビット直列インタフェースにおける補助データ領域への字幕データの多重方法標準規格」(ARIB STD-B27)の廃止に伴う変更、アナログ放送終了に伴う表現の見直し及び「アスペクト比 16:9 の画面におけるセーフティゾーン技術資料」(ARIB TR-B4)におけるセーフティゾーンの記載に合わせた変更を行うものである。</p>
ARIB STD-B38 2.3 版	サーバー型放送における符号化、伝送及び蓄積制御方式標準規格	<p>本標準規格は、大容量蓄積機能を活用するデジタル放送方式における、映像、音声及びメタデータの符号化方式、伝送方式及び蓄積制御方式について規定したものである。</p> <p>今回の改定は、セグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送サービスにおける EPG/ECG メタデータに関連し、メタデータ辞書への項目追加・修正のため改定するものである。</p>
ARIB STD-B55 1.2 版	エリア放送の伝送方式標準規格	<p>本標準規格は、地上一般放送局が行うエリア放送(UHF 帯の周波数のうちホワイトスペースを使用し、一つの市区町村の一部の区域のうち、特定の狭小な区域における需要に応えるための放送)の伝送方式について規定したものである。</p> <p>今回の改定は、ARIB STD-B10 におけるエリア放送を識別するためのエリア放送情報記述子の追加改定に伴い、運用ガイドラインに関する規定を付属に追加するものである。また、必須の工業所有権の実施の権利に係る確認書の提出に伴い当該確認書をまえがきの別表(工業所有権)に追加するものである。</p>
ARIB TR-B14 5.2 版	地上デジタルテレビジョン放送運用規定技術資料	<p>本技術資料は、地上デジタルテレビジョン放送の放送局での運用及び地上デジタルテレビジョン放送受信機の機能仕様をとりまとめたものである。</p> <p>今回の改定は、IPTV フォーラムの放送通信連携技術仕様に基づき、放送と通信が連携したアプリケーションを利用できるようにするとともに、ワンセグ受信端末における放送画面のウィンドウ表示機</p>

規格番号	規格名	概要
		<p>能について、第三編「地上デジタルテレビジョン放送データ放送運用規定」を改定するものである。また、群馬県・栃木県における県域テレビ放送のネットワーク識別例外運用の終了に伴い、第七編「地上デジタルテレビジョン放送送出運用規定」を改定するものである。さらに、一般社団法人デジタル放送推進協会への名称変更に伴い、第三編及び第八編「地上デジタルテレビジョン放送コンテンツ保護規定」を変更するものである。</p>
<p>ARIB TR-B15 6.1 版</p>	<p>BS/広帯域 CS デジタル放送運用規定技術資料</p>	<p>本技術資料は、BS デジタル放送局での運用及び BS デジタル放送受信機の機能仕様並びに広帯域 CS デジタル放送局での運用及び BS デジタルと広帯域 CS デジタル放送の共用受信機の機能仕様に関し規定したものである。</p> <p>今回の主な改定は、放送と通信が連携したアプリケーションを利用できる機能の追加、放送事業者増加による NVRAM 拡張に伴う実装時期の変更、蓄積機能搭載受信機でのループ録画された番組での自動表示メッセージの取り扱いをリアルタイム視聴と同じとする改定、広帯域 CS 放送事業者のサービス変動に伴い 2013 年 7 月 1 日時点の情報への更新及び「デジタル放送推進協会」の一般社団への移行に伴う改定である。</p>
<p>ARIB TR-B22 1.1 版</p>	<p>デジタルハイビジョン素材伝送補助データ運用規定技術資料</p>	<p>本技術資料は、デジタルハイビジョン素材伝送において、「どの伝送機材」が「どのような状態か」を受信側で監視可能にする目的と汎用情報を簡易に伝送可能にする目的に、デジタルハイビジョン素材伝送補助データ（機器 ID・監視情報及び汎用情報）の運用について規定するものである。</p> <p>今回の改定は、ARIB STD-B27 の廃案に伴い、関連文書から ARIB STD-B27 を削除するものである。</p>
<p>ARIB TR-B33 1.7 版</p>	<p>セグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送運用規定技術資料</p>	<p>本技術資料は、207.5MHz 以上 222MHz 以下の周波数の電波を使用する移動体・携帯端末向け地上マルチメディア放送のうち、セグメント連結伝送方式によるもの（ISDB-Tmm 方式）の運用を規定するものである。</p> <p>今回の改定は、2012 年 4 月の開局以降の運用実績を踏まえて、本技術資料のさらなる充実を図るために(1)受信機実装やコンテンツ作成の観点より、コンテンツ伝送に用いる各種パラメータや BML におけるイベントに関する記載をはじめとする現行技術資料の不明確であった点の明確化、(2) ARIB STD-B38 2.3 版への改定に伴う規定の変更、(3) ARIB STD-B53 1.2 版への改定に伴う規定の変更、(4)視聴</p>

規格番号	規格名	概要
		者の利便性に寄与するための規定の変更等を行うものである。
ARIB STD-B27 1.0 版 (廃止)	525/60 及び 1125/60 テレビジョン方式のコンポーネントビット直列インタフェースにおける補助データ領域への字幕データの多重方法標準規格	<p>2000 年 10 月 12 日に策定された本標準規格 ARIB STD-B27 は、525/60 及び 1125/60 テレビジョン方式のビット直列インタフェースにおいて、映像に同期して画面表示される文字である字幕データを、補助データを用いて伝送する場合の構造と多重方式について規定している。</p> <p>この度、スタジオ設備開発部会において、本標準規格が実運用上使用されておらず、今後も使用する可能性がないことを確認したので、本標準規格を廃止することとする。</p>